

目 次

○第1号（8月5日）

議事日程 第1号	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のため出席した者	2
事務局職員出席者	2
開会・開議	3
日程第 1 会議録署名議員の指名について	4
日程第 2 会期の決定について	4
日程第 3 議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）	4
日程第 4 議案第48号 工事請負契約について	18
日程の追加	20
追加日程第 1 緊急質問について	20
閉 会	31

平成26年第2回

榛東村議会臨時会会議録

第 1 号

8月5日(火)

平成26年第2回榛東村議会臨時会会議録第1号

平成26年8月5日（火曜日）

議事日程 第1号

平成26年8月5日（火曜日）午前10時30分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）

日程第 4 議案第48号 工事請負契約について

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第4まで議事日程に同じ

追加日程第1 緊急質問について

出席議員（13名）

1番	清水健一君	2番	松井保夫君
3番	小山久利君	4番	山口宗一君
5番	小野関武利君	6番	松岡稔君
7番	南千晴君	8番	松岡好雄君
9番	柳田キミ子君	10番	岩田好雄君
11番	岸昭勝君	12番	早坂通君
13番	金井佐則君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

村長	阿久澤成實君	副村長	萩原貞夫君
総務課長	村上和好君	基地・財政課長	山本比佐志君
税務課長	岩田健一君	住民生活課長	早川雅彦君
子育て・長寿支援課長	青木繁君	健康・保険課長	小野関均君
産業振興課長	新藤彰君	建設課長	清水喜代志君
上下水道課長	久保田勘作君	会計課長	小山美子君
教育長	阿佐見純君	学校教育課長	清水誠治君
生涯学習課長	清水義美君		

事務局職員出席者

事務局長	倉持直美	書記	富澤美由紀
------	------	----	-------

◎開会・開議

午前10時30分開会・開議

○議長（金井佐則君） 皆さん、おはようございます。

平成26年第2回榛東村議会臨時会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、ここに第2回臨時会が招集されましたところ、議員各位におかれましては公私ともにご多用のところご参集をいただき、厚く御礼を申し上げます。

この6月議会最終日に、オスプレイに関する決議を賛成多数で可決いたしました。この決議には、いまだ沖縄には多数の米軍基地が所在しており、その負担については国民全体で共有すべき課題であると思っております。

6月24日には小野寺防衛大臣に面会し、議会決議を手渡しました。大臣から、オスプレイの訓練の受け入れに理解をいただき、心から感謝したい。沖縄の負担軽減のためにも、日本の安全保障のためにも、しっかりとした体制をとっていききたいと、謝意をいただいたところであります。

また、7月29日には、沖縄県議会自民党会派11名が来村し、沖縄の負担軽減を図る上から、大変重要な歓迎すべき決議であるとの謝意もいただいております。

しかし、この間、県内外からは多くの意見をいただき、マスコミ報道の影響力の強さを改めて認識しているところでございます。

一方、表現の自由として、記者個人の意見や思想の表現が、こちらの意に反する報道をされてしまう危うさを思い知らされております。

また、皆さんもご存じのとおり、この7月8日の第1回臨時会において、永年議長として職務しておりました高橋前議長が群馬県議会議員に立候補するため議員辞職をし、不肖、私が議会議長に就任をいたしました。この職責の重大さを改めて痛感するとともに、村政の発展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意努力する所存であります。

村財政においては、限られた財源で、より効果が発揮できるかが問われる時代であります。そのような中であっても、財政の健全化に向けた取り組みを進めながら、子供たちの健全な育成や少子高齢化、高齢者に対する医療・福祉対策、さらには防災、教育環境対策など、山積する諸問題の解決に取り組んでいかなければなりません。

私たち議会は、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、執行機関と真摯な議論により有効な政策を推進し、本村の発展と住民福祉の推進のために全力を尽くしてまいります。

それでは、本臨時会に提案されます議案についてですが、既にお手元に配付されている議事日程にありますように、議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算、議案第48号 工事請負契約となっております。

議員各位におかれましては、十分な審議をお願いし、適正妥当な議決に達せられますようお願いを申し上げて、一言ご挨拶とさせていただきます。

それでは、平成26年第2回榛東村議会臨時会を開会いたします。

出席議員の確認を行います。

議員は全員出席であります。

よって、本日の会議は成立いたします。

なお、地方自治法第121条の規定により、村長以下管理職全員の出席を求めています。全員出席です。

直ちにお手元に配付した議事日程に従い、本日の会議を開きます。



◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（金井佐則君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員の指名は、会議規則第111条の規定によって、議長において指名を行います。

5番小野関武利君、6番松岡稔君を本日の会議録署名議員に指名いたします。



◎日程第2 会期の決定について

○議長（金井佐則君） 日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日5日の1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は、本日1日限りとすることに決定いたしました。



◎日程第3 議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）

○議長（金井佐則君） 日程第3、議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

議案の朗読を求めます。

倉持事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（金井佐則君） 議案の朗読は終わりました。

提案理由の説明を求めます。

山本基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） それでは、平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）につ

いてご説明申し上げます。

今回の補正の主なものは、歳入につきましては土地貸付収入の減額及び財政調整基金の取り崩しによる繰り入れ、歳出につきましては消防団の県大会出場に伴うものなどでございます。

議案書2ページをお願いいたします。

第1表、歳入歳出予算補正。

初めに、歳入でございます。左から、款、項、補正額、計の順に朗読させていただきます。

17款財産収入、補正額500万円の減、計4,963万4,000円。1項財産運用収入、補正額500万円の減、計4,963万1,000円。

19款繰入金、補正額746万9,000円、計6億2,101万9,000円。1項基金繰入金、同額でございます。

歳入合計、補正前の額55億7,666万1,000円、補正額246万9,000円、計55億7,913万円でございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。

歳出でございます。左から、款、項、補正額、計の順に朗読させていただきます。

1款議会費、補正額6万5,000円、計9,569万3,000円。1項議会費、同額でございます。

9款消防費、補正額240万4,000円、計2億5,802万9,000円。1項消防費、同額でございます。

歳出合計、補正前の額55億7,666万1,000円、補正額246万9,000円、計55億7,913万円でございます。

4ページから6ページは歳入歳出事項別明細書（総括）でございます。説明は省略させていただきます。

8ページをお願いいたします。

歳入の事項別明細書でございます。ご説明いたします。

上の枠、17款1項1目財産貸付収入、補正額500万円の減は、1節土地建物貸付収入で、霞山カントリー倶楽部と村有地賃貸借料金の交渉がまとまりましたので、減額するものでございます。

下の枠、19款1項1目基金繰入金、補正額746万9,000円は、1節基金繰入金で、説明欄にある財政調整基金を取り崩して、歳入の不足する財源とするものでございます。

10ページをお願いいたします。

歳出の事項別明細書でございます。ご説明させていただきます。

下の枠、9款1項1目非常備消防費、補正額141万4,000円の主なものは、1節報酬で、説明欄にある非常勤特別職報酬で消防団員の県大会出場等に伴う手当を計上させていただきました。

この下、2目消防施設費、補正額99万円の主なものは、15節工事請負費で、消防水利である消火栓補修工事費を計上させていただきました。

12ページをお願いいたします。

給与費明細書でございます。

1は特別職でございます。後ほどごらんいただきたいと思います。

以上で説明にかえさせていただきます。ご審議の上、ご可決くださいますよう、よろしくお願ひい

たします。

○議長（金井佐則君） 提案理由の説明が終わりました。

ここで質疑を行います。質疑ございませんか。

4番山口宗一君。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） 4番山口です。

8ページをごらんください。

歳入の財産貸付収入、土地建物貸付収入ということで、500万円の減額措置が載っております。先ほどの説明の中で、霞山カントリーの借地料の減額と、そういうことで説明がありました。決算書などが届いているということですが、どのような決算書なのか知るよしもあります。

以前から、霞山カントリーからは減額の要請が来ていまして、いずれも継続審査と、そういう形で来まして、この3月に総務産業建設常任委員会では不採択とした経過がございます。そのような中で、一方的に相手の決算書というんですか、そのものを信用して減額をするような措置というのはいかかなものかと思えます。

また、やり方としては、民間の調査会社とかそういうところに依頼して、これは多少のお金はかかるとは思いますが、その経営状態を知ると、そういうことも大事なことじゃないかと思えます。そのことをやられたのかどうか、お尋ねします。

○議長（金井佐則君） 財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） 特に、民間の調査会社に委託したことはございません。議会議長宛て、また、村長宛てに出てきた陳情書の中にある収支状況ということで参考にさせていただきまして、また、副支配人を呼びまして説明を受けたものでございます。

以上でございます。

○議長（金井佐則君） 4番。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） これ、第三者というのがいると非常にわかりやすいんですが、相手の支配人というんですか、副支配人が来て、説明を受けるといえば、相手は間違いなく経営状態がよろしくないというのは言っています。それは減額を依頼する側の常套手段、そういうふうな経営状態がよくない。先ほど、暮れの賞与が3分の1になったと、そういうこともあります。その辺も実際に調べてみないと、私たちにはわかりません。

そういう意味からしても、非常にやり方として、この減額を認めると、そういうことはどうなのか。もう一つ、ここにきちんとした立場で精査してやるべきではないかと、そのように考えていますが、村長のお考えをもう一度お聞きします。

○議長（金井佐則君） 阿久澤村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） お答えします。

山口議員から話されています500万の減額の根拠はどうかということだというふうに思います。先ほども答弁させていただきましたとおり、霞山カントリーの係のほうからいろいろとお話がありました。そんな中で、霞山カントリーの方にいろいろな事案について資料の提出を要請したところがございます。

そんな中と同時に、経営状況を自分で見た中で、説明を受けた中では、非常に苦しいんだということと同時に、今いろいろなところでクラブが倒産に追い込まれているというような状況の中で、榛東村でも以前、17年度に榛名カントリーが倒産し、その後の収入も見られなかったというような状況もがございます。

それと同時に、今回、霞山カントリーでもそういったような状況があれば非常に困るなというようなことと同時に、ご案内のように、私も関係しているんですけれども、民間の柏平の借入れも全面的に解除させられたというような状況の中で、非常に経営状態が思わしくないんだというような実感を私はしております。

そんな中で今回、平成25年3月8日に嘆願で、3,000万のところを1,000万にしてくれないかというようなことで第1回の申し入れがございました。その後、いろいろな話の中で、最終的には1,000万をまけてくださいということで来たわけでございます。そして、そのことについては、議会を開くというようなことでなしに、先ほど申し上げましたように、前の正副議長にはお話を申し上げ、こういう状況で今来ているんだということをお話し申し上げた中で500万の減額をする中で、ほかの一般の事業者には迷惑をかけない措置をとるということで、500万で妥協しようじゃないかということでお話を進めさせていただいたという経緯でございます。

○議長（金井佐則君） 4番。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） 今、村長から何点かお話がありました。個人の所有者に関しては、私たちの総務産業建設常任委員会を開いていろいろなご意見を聞きまして、そちらのほうには減額の要請はしないと、そういう話もありました。

しかしながら、この経営者は、要するに借地料というのを承知しながら霞山カントリーの取得に乗り出したわけであります。承知しながらやったにもかかわらず、ご存じのとおり、テニスリゾートはよろしくないというので手放し、今度は村の借用料を値下げすると、これをやっていると切りなく、際限がありません。そういうことで、もうちょっと慎重に取り扱うべきではなかったかと、そのように私は考えております。

村長、もう一度、今後の対応の形とか、それについてご意見をお聞かせください。

○議長（金井佐則君） 暫時休憩します。

午前10時48分休憩

午前10時49分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開いたします。

村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） まず最初に、26年3月18日に市川会長が直接私のところに来まして、3,000万円のところを1,000万円に減額の要請を受けたという経緯がございます。趣旨は、500万円の減額等は、景気がよくなったらまた増額で話し合いたいという含みもあった中で、妥協というか、500万に落ちついたというところがございます。それと同時に、先ほどもちょっと触れましたけれども、霞山カントリーも非常に経営難で、ご案内のように、民間の柏平グリーンランドの施設も全部解除しました。そして、ゴルフ場の運営を主体に、市川さんも仕上げているということでやられました。

今までは、数カ所ゴルフ場があるというお話は聞いております。その中で合算でやっていたんですけども、どうも霞山カントリーについては経営が非常に悪いということで、単独でやるんだということでもお話がございました。その単独になった暁に、非常にほかのゴルフ場と比べて負が大きくなっているというような説明も受けたところがございます。

そして、私としては、そういったものの中で、今までどおりの突っ張り方というか、減額しないでやった場合に、市川会長も「そうなったらば撤退するほかないんですよね」という、おどしと言われればそれまでなんですけれども、そういうお話も口にされたという中で、私としては、村の施設賃貸借の中で解除をされては、これからあの山をどういうふうにするかということを考えたときに、ここで一步下がって、そして再起を促し、それが再起できてプラスになっていけば、先ほど申し上げましたように、また減額幅を縮小しながらやっていけるんじゃないかという経営的な努力を促す中で、こういう決断をさせていただいたということがございます。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

8番松岡好雄君。

〔8番 松岡好雄君発言〕

○8番（松岡好雄君） 8番松岡です。

先ほど村長がいろいろ発言しているんですけども、この霞山カントリー、3月17日に議決して、全会一致で不採択になったと思うんです。それで今、村長の発言を聞いていると、翌日18日に社長ですか、その人と話し合って500万下げたと。それは、村長、自分で勝手に決めちゃったのかい。議長と副議長で3人で決めれば、不採択になった事案でも何でも、これから先も全部そうやって決めてい

いんかい。村長、その点を説明してください。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 議案によっては、それはちゃんとした手続を踏まなきゃならないというふうに考えておりますけれども、この賃貸借については5,000万以下ということで、その中で執行したということでございます。

○議長（金井佐則君） 8番。

〔8番 松岡好雄君発言〕

○8番（松岡好雄君） そのことはわかっているけれども、村長、3月17日に議決したものを、じゃあ議会で決めたことは一切関係ないということか村長は、これから先も。それを俺は聞いているんですよ。だから、もうちょっと慎重に議会と話し合っ、500万だっ、議会にかけらるんであればあれですよ。これ、議会に諮るべきだったんじゃないかと思うんだけど、こんな横暴なやり方は、村長、よろしくないですよ。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 結果的には批判を受けるというものになってきたという中で、私としてはですね、言いわけではございませんけれども、正副議長ともお話をさせていただいた中で、今後の村の資産運用の中で、ここで一步下がって、次なる努力をしていただいて、結果を待ったほうがいいんじゃないかというような、先ほどから申し上げましたように、そんな考えで決断をさせていただいたというところでございます。

○議長（金井佐則君） 8番。

〔8番 松岡好雄君発言〕

○8番（松岡好雄君） それは、村長の言い分は言い分、議会は議会、このことについてどうしてもかみ合わねえ部分が出てきましたね。これは、非常に榛東議会としては、村長の発言ですか、これは自分としては間違っていると思っていますよ、はっきり言って。そんな、繰り返しますけれども、3月17日に議決して不採択ですよと、3,000万を1,000万。それで、今も景気が悪いんだらいいけれども、だんだん上向いてきているのに、村長は何か市川会長、ゴルフ場の経営者をかばっているような感じがするんだけど、逆に、だめですよ一言、きのう議決したんだから一切認めませんと、突っぱねたほうがよかったんじゃないか。もう一回お願いします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 私の決断としては、先ほど申し上げたとおりでございます。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

12番早坂通君。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 12番早坂です。

再度お尋ねしますけれども、職員の一時金が3分の1になったということについて、それは具体的に何か書類で確認をしているのでしょうか。

○議長（金井佐則君） 山本基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） これにつきましては、書面で受けております。また、説明を受けております。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 書面で受けているということですが、その書面が、向こうが一方的に出してきた書面なのか、こちらがちゃんとその書面に対して裏づけをとって確認をしてあるのかどうかということを今聞いたわけですね。それで、そのことについて1点お答えいただきたい。

これは村長にちょっとお尋ねしますが、村長はこの間の議会のときに、バイオ発電の件の際の私の質問に対して、私が100万円ぐらいならば補正をして研究を続けるべきだというふうに言ったことに対して、村長はこう言いましたよね。村民から預かった税金であるから、1円でも1億円でも同じだと、大切にしなければならぬと、そういうふうに言ったと思うんですが、確かにそれはそのとおりなんです。ですから、この500万円の減額についても、本当に霞山カントリーの経営が厳しくて、本当にこのままいけば倒産するということになれば、それなりの村としての対応はすべきだというふうに私も思います。

ただ、私が言いたいのは、一方的に相手から言われたことを信じて対応しているようにしか、私には今までの話を聞いて思えないわけですね。ですから、向こうが言ったことに対してこちらがちゃんと裏づけをとって、そういう中において、経営が厳しいから、村としてもできる限りの範囲で賃貸料を減額しようというようなことになったのかどうか、お尋ねします。

○議長（金井佐則君） 基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） 霞山カントリーゴルフ倶楽部から出ました25年度収支についての説明、この裏づけはとってございません。呼んで、説明を受けたということでございます。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） それから、1円でも大事にするよというお話が出ました。それはごもっともだというふうに私は今でも思っております。ただ、事案について、やっぱり何というか、考え方が

違ってくると思うんです。今回は、皆さん方にも今も説明させていただいているように、減額をした中で、将来的にこれがプラスに転じるんだという私は期待感を持ったという中で、正副議長と相談し、その考えを伝え、そして市川さんと呼んでですね。ほか2名も来ていましたけれども、そういうお話をさせていただいて、よくなったらまた増額のお話はさせていただきますよというお話を了解した中で、500万の減額というお話をさせていただきました。

以上です。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 最初は、3,000万を1,000万円にしてくれという話でしたよね。やっぱり、経営する側にとっては、支出するお金が少なければ少ないほどいいわけですから、それが3,000万というのが1,000万になったと。それで、最終的に500万円で話がついたということですけども。

ですから、私が先ほどから言っていることは、ちゃんとこのぐらいの賃貸料の減額をするのが妥当だろうと、霞山カントリーの経営状況から考えて妥当だろうというちゃんと裏づけを、どうもさっきから聞いているととっていないようですよね。霞山カントリーの説明をもとに金額を出したというふうにしか私には聞こえないんですが、そういうことでよろしいんですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 一番初めは、3,000万の中で2,000万を切ってくれというようなお話、それから次は3,000万を1,000万切って2,000万にしてくれというお話、そういうお話の中では、私たちは根拠がないからだめですよということで突っぱねていたわけです。それで、議会がそれを何とか解決しなきゃということでずっと継続にしていたという状況の中で、不採択をしていただいたという中で、次ぐ日、市川さんが見えて、不採択だけれども、いずれにしても経営が苦しいんだと。だから、先ほど言ったように、給料が3分の1とか夏期手当が支払われていないとかというようなお話の具体的なものを持ってきたし、それから施設についての更新がなかなかできないというようなことも言われてきたと。私もことし1回、霞山にお世話になって、係の人にそういうところを見させていただきました。

そんな中で来た中で、やっぱり苦しくて、人員削減もしているし、努力はしているんだけど、なかなか大変なんだなという中と同時に、先ほどから申し上げているように、ここで村も我慢すれば、何とか霞山も、何というか、いい、プラスになれるんじゃないかという期待感のもとに相談をかけて、500万という数字を出させていただいた。その500万の決定の中には、先ほどから申し上げているように、民間の人、それから個人の人に、村がこれだけ下げたんだからおまえらも下げろというようなことは絶対に慎んでくださいという注文もつけてあります。

以上です。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

5番小野関武利君。

〔5番 小野関武利君発言〕

○5番（小野関武利君） 5番小野関です。

霞山カントリーの経営状況を客観的に見られる数字ということであれば、ゴルフ利用税の動向なんですけれども、村内には1カ所しかありませんので、言ってみれば、ゴルフ利用税については霞山の収入ということでありますので、ここ四、五年の動向を聞かせていただきたいと思います。

○議長（金井佐則君） 基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） これにつきましては、陳情書に添付されたものでございます。ゴルフ利用税ということで、23年度につきましては2,006万8,000円、24年度につきましては1,873万円、平成25年度につきましては1,787万9,000円でございます。

○議長（金井佐則君） 5番。

〔5番 小野関武利君発言〕

○5番（小野関武利君） 年を追うごとに少しずつ下がっているという状況ではあって、昨今の利用者の状況を見ると、免税の対象になる人間も多くなっているような状況かというふうには思っているんですけれども、べらぼうな落ちはないというふうにはちょっと見えるんですが、今後の対応の部分で、霞山カントリーにすればまだ借地料の減額が少ないよという状況を言っているのかなと思うんですが、将来的にまたこういった減額の要請が来るような状況もあるのかなというふうには思っているんですけれども、その辺のことにに関して、村長、ご見解をお願いいたします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 先ほどから申し上げましたように、企業努力がなされているか、いないかというところは見きわめなきゃというふうに思います。そんな中で、次はそういうお話が出てきたときには、議員の皆さん方にお話を申し上げて解決していきたいと、こんなふうに思います。

以上です。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

11番岸昭勝君。

〔11番 岸 昭勝君発言〕

○11番（岸 昭勝君） 11番です。

500万円にした経緯というのは妥当な線かもしれませんが、3月17日にこの件に関して不採択と委員会が出したんですけれども、次ぐ日に500万ということで相手と交渉が決まったということなんですけれども、問題は、我々委員会が不採択で出して、そういう結果を出して次ぐ日に決めたというこ

とは、委員会のちょっと軽視につながるような感じいたします。そういうことで、ぜひ一度、決定を行う前に委員会に、委員長でもいいんですけれども、こういうことなんだということを相談してほしいというのが委員会の——私も委員会の一員でございます。そういうことで、その辺の村長の考え方を聞きたいんですけれども。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 岸議員からそういうふうに言われれば、自分でも胸に当たるところがございます。ただ、私としては、前日に不採択されて、それを聞いて危機感を持った市川さんが次ぐ日に来られたんじゃないかというふうには私は解釈しているんです。それで、市川さんが来るというお話の中で、不採択になったものについて今後のお話し合いしたいということで来られたんだというふうに理解をしています。たまたま議会代表の正副議長がおられたので、そういうお話で来るんだけれどもお話に乗ってくれねえかということで、お話に乗っていただいたという経緯がございます。

いずれにしても、皆さん方からいただいた批判、それからいろいろな要件については、今後、修正できるものについてはやっていかなきゃというふうに考えております。

○議長（金井佐則君） 11番。

〔11番 岸 昭勝君発言〕

○11番（岸 昭勝君） だから、要するに、総務産業建設委員会の陳情・請願の検討なんですけれども、問題は、正副議長に相談したということはいいいんですけれども、少なくとも総務委員会の正副委員長にも相談をかけてほしかったということを私は思っています。今後、そういうことでよろしくをお願いします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 肝に銘じて、今後そのように対応していきたいと、こんなふうに思います。

○議長（金井佐則君） いいですか。

○11番（岸 昭勝君） はい。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

3番小山久利君。

〔3番 小山久利君発言〕

○3番（小山久利君） 3番小山です。

8ページで、19款繰入金のところなんですけど、合計で6億2,101万9,000円となるんですけど、財政調整基金の残高、わかったら教えてください。

○議長（金井佐則君） 基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） 25年度末につきましては23億1,929万円でございます。本年度につきましては、積立金が5,149万7,000円、取り崩しが3億6,949万4,000円でございます。差し引きますと3億1,799万7,000円の減で、26年度末見込み額につきましては20億129万3,000円でございます。

○議長（金井佐則君） 3番。

〔3番 小山久利君発言〕

○3番（小山久利君） 財産収入が減る一方、財政調整基金も減っているということで、3,000万円のところを2,500万円ということで、先ほど村長、5,000万円以下の契約だから私の判断でやったということなんですが、霞山カントリーも心配なんですが、榛東村は大丈夫なんでしょうか。その辺、村長の見解をお願いします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） ご案内のように、財政調整基金というのは積んでいけばいいという問題じゃございません。必要経費は取り崩し、そして財政に余力ができれば積んで、いつ何どきでもそれが対応できるというような状況に置くのが財政調整基金だと私は考えております。

そして、今の榛東村の人口からいって、いろいろな資料を調べてみますと、基金として15億以上しなさいよということが私が調べた中ではうたわれております。そういった中では、20億という今の現在高ではいいとは言えませんが、大丈夫だということで進めさせていただいております。

そして、ご案内のように、財政調整基金をふやすという中で、いろいろな事業を今展開しているところでございます。今、その事業が出費に、資本投下にかかっておりますので、財政調整基金も幾らか目減りをしているんじゃないかというような私は分析をしております。これがもう少したてば、何とか相乗効果が出てきたら上がってくるんじゃないかというふうには期待を持って進めさせているところでございます。

○議長（金井佐則君） いいですか。

○3番（小山久利君） はい。

○議長（金井佐則君） ほかに。

7番南千晴さん。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 7番南です。

同じ土地建物貸付収入に関してなんですけれども、当初の予算で500万円減額じゃないということ歳出を組んだというか、当初予算は歳入準拠という村長の考えの中で予算を組んだわけであって、この500万円もあるという状況での予算編成だったと思うんですよね。ただ、先ほど村長がおっしゃった中で、いろいろなことがあって今回このようなことになったということですけども。

でも、入らないから全部財調を繰り入れればいいのかという部分、全体の予算を見たときに、例え

ば今年度はこの500万円減額じゃないという予算を組んでいるので、来年度27年度からそのあたりをちゃんと歳入準拠というか、歳入を見越してやっていくような、本年度の予算ではこうだから来年度からちょっと減額について考えますよというような、そのあたりの考えは一切なかったのか。本年度も4月からスタートして、それも3月定例会で予算を編成して、陳情・請願の総務産建常任委員会の不採択という報告に関しての議会の議決、そういうことを考えると、今回じゃなくて、来年度からというような交渉というか、そのあたりに関しては一切考えがなかったのか、お聞かせください。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） はっきり言って、なくはありませんでした。しかし、交渉の中というか、お話し合いの中で、先ほどもお話し申し上げているんですけれども、非常に霞山カントリーの経営状態が危機状態にあるということは私にはひしひしと伝わってきたというところで、その中で村から行っている従業員の給料も3分の1しか払われていないというような状況を踏まえたときに、私の心情としては、ここで500万減額するならば、そういった人たちが助かると、そしてまた経営が上向きになるんだという期待を持って決断をしたということでございます。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 先ほどの委員会の中で、25年度は261万の黒字だというふうに課長のほうから説明があったんですけれども、25年度は261万の黒字だったという部分、ずうっと赤字が続く中でも25年度は黒字だったということも考えると、やはりこのタイミングでしなければいけないものなのかという部分には疑問があるんですけれども、これはやっぱり村長は村民も理解してくれるというように思っているのでしょうか、ちょっとお聞かせください。

〔「村民が何ですか」の声あり〕

○7番（南 千晴君） 村民もこのことに関して理解していただけるというような考えがあるのか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） それは決算で報告しなきゃというふうに思っておりますけれども、私の考えとしてはそういう形でやらせていただいたということを説明をしたいと、こんなふうに思います。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 25年度が黒字だったということに関してはどのように考えているのでしょうか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 単年度でいえば黒字だったということでございまして、トータルでいうと本当に赤字で来ているんだというお話はございました。そういうお話は私も聞いております。

そして、先ほど、この黒字の中にですね、小野閣議員が話されました村の収入はどうなっているんだというお話でございますけれども、今、過当競争がありまして、人数は確かにふえているらしいです。しかし、プレー代の値引き合戦でやっぱり太刀打ちしていくのには、その対応をしなきゃということもお聞きしている中で、総合的に判断して、500万の減額を私は認めたということでございます。

○議長（金井佐則君） ほかに質疑ございませんか。

2番 松井保夫君。

〔2番 松井保夫君発言〕

○2番（松井保夫君） 2番 松井保夫です。

先ほど来、この貸し付けの件について皆さんご質問しているんですけども、私も1点伺いたいと思います。

先ほど課長のほうで、交渉が成立したので減額補正と、こういう説明をいただきましたけれども、交渉という言葉でよろしいですか。

○議長（金井佐則君） 基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） ことしの6月24日、武田副支配人が来庁しまして、500万円の減額をお受けする旨の「村有借地料減額に関する回答書」が提出されました。村はこれを受けて、本年7月1日、土地賃貸借契約書を株式会社霞山カントリー倶楽部と契約を締結した次第でございます。

○議長（金井佐則君） 2番。

〔2番 松井保夫君発言〕

○2番（松井保夫君） 3月の定例会のときに、総務産業常任委員会で、村長は霞山カントリーに500万の提案をしておるんだと、こういう村長のご意図を伺ったんですけども、例えばそれからずうっと霞山カントリーが受けていなくて、これ500万で受けなかったら、課長、どうするつもりでございましたか。このままずっと3,000万で、榛東村としたら収入を確保していく、こういう形でよろしいですか。

○議長（金井佐則君） 基地・財政課長。

〔基地・財政課長 山本比佐志君発言〕

○基地・財政課長（山本比佐志君） 村長が申し上げました3月18日については物別れとなったものでございますけれども、今年度中に妥結するものだというふうに考えておりました。

○議長（金井佐則君） 2番。

〔2番 松井保夫君発言〕

○2番（松井保夫君） 交渉が成立したからという意味は、非常に私は気になっています。理由は、

やはり霞山カントリーが主導権を握っておるんじゃないか。それと、村として第三者機関に依頼していないから、本当のところはわからないんじゃないか。この2点が、私は今までずっと霞山については思っております。村長の人のよろしいね、霞山カントリーが大変で、ボーナスも何もやれないんだと。これは、確かに向こうはそう言うかもしれませんが、第三者機関を入れていないという、この心配をずっと私は思っています。

交渉という話ではないと思います。やはり、第三者機関を使って、いろいろ霞山カントリーの状況を確認をして、そして村として行政が決心をする、こういう形の例えば500万とか300万という決心なら私はいいと思うんですけども、それをされていなくて、交渉で決めているのは非常に残念に思います。

以上です。

○議長（金井佐則君） 答弁いいですか。

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（金井佐則君） なしと認め、質疑を終結いたします。

討論を行います。討論ございませんか。

4番山口宗一君。

〔4番 山口宗一君発言〕

○4番（山口宗一君） 4番山口です。

反対討論を行います。

先ほどからも申し上げているように、当総務産業建設常任委員会はこの3月17日に、陳情として出ておりました案件に対して不採択としたわけです。その内容に関してちょっと述べさせていただきますと、ゴルフ場の価格競争により経営の厳しさは理解できる。しかし、借地料を減額するのは、個人地主にも多大な影響を及ぼす。本委員会では、地主代表と協議した経緯や本村の歳入を考えると、重要な財源であるゴルフ場のさらなる努力、削減などの経営努力を行っていただきたいと、そういうことを申し上げて、不採択にした経緯があります。

一度減額をすると認めると、翌年も翌々年も、これは継続されるわけです。例えば、10年後には5,000万と、大きな金額になるわけです。

今、榛東村は、南小の体育館の建築費あるいは南コミの改修費、さらに中央公民館の建てかえとか、いろいろな問題が山積しているわけです。少ないお金をいかにこういうところに拠出していかなくちゃいけないのかと、非常に危惧するところがある。そういう観点から、この提案に関しては反対討論いたします。

以上です。

○議長（金井佐則君） ほかに討論ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

直ちに採決を行います。

議案第47号 平成26年度榛東村一般会計補正予算（第3号）について、原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（金井佐則君） 全員反対であります。

よって、本案は否決されました。

◎日程第4 議案第48号 工事請負契約について

○議長（金井佐則君） 日程第4、議案第48号 工事請負契約についてを議題といたします。

議案の朗読を求めます。

倉持事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（金井佐則君） 議案の朗読が終わりました。

提案理由の説明を求めます。

村上総務課長。

〔総務課長 村上和好君発言〕

○総務課長（村上和好君） それでは、工事請負契約についてご説明いたします。

本契約につきましては、議会の議決に付すべき契約、5,000万以上の工事契約でございます。

工事名、契約金額、契約の相手について朗読し、説明にかえさせていただきます。

工事名、平成26年度相馬原飛行場周辺整備統合事業南部コミュニティセンター改修工事。

契約金額、1億1,232万円、うち取引に係る消費税及び地方消費税額832万円。

契約の相手、住所、群馬県前橋市元総社町1丁目1番地の7。

商号等、佐田・ぐん・せい・岡部特定建設工事共同企業体。

代表者、佐田建設株式会社代表取締役社長、荒木徹。

なお、工事の詳細につきましては、工事担当課長であります生涯学習課長よりご説明いたします。

○議長（金井佐則君） 生涯学習課長。

〔生涯学習課長 清水義美君発言〕

○生涯学習課長（清水義美君） それでは、工事の概要についてご説明いたします。

平成26年度相馬原飛行場周辺整備統合事業南部コミュニティセンター改修工事の概要についてご説明いたします。

南部コミュニティセンターの改修事業は、平成26年度及び27年度の2カ年において、防衛補助事業

として実施するものです。

平成26年度分の工事内容ですけれども、多目的ホールに係る改修工事を実施いたします。多目的ホールの主な工事内容ですけれども、建築工事におきましては、北側村道方向に約55平米を増築し、外壁、内壁、床、天井、屋根などを改修を行います。

多目的ホール内の改修内容ですけれども、ステージは前方に約1メートル拡張し、広く使用できるよう改善いたします。ステージ開口部は現在より広く、また、高くするように改善いたします。

既設の収納庫を撤去しまして、北側の増築部に収納スペース、更衣室、ステージ横の前室を設けます。また、この増設部分によって、北側の民家への防音効果を高めるものいたします。

東側の吐き出し口などの開口部は二重サッシとし、防音効果を高めます。天井は改修し、地震時における天井板の落下を防止するための安全対策を行います。

電気設備工事は、キュービクルや電気配線を改修し、照明機器はLED、空調機器は省エネタイプに更新いたします。

屋根には太陽光発電を設置します。なお、太陽光発電は、全体の40キロワットのうち平成26年度分として17.3キロワットを施工するものです。

外構工事につきましては、ステージへの楽器等の搬入を行うための車両進入口を北側村道側へ設置いたします。

給排水工事は、給水・排水管の移設が生じます。また、既設浄化槽を撤去いたしまして、公共下水道へ接続します。

その他、カーテンは遮光カーテン、ダンスなどの練習に必要な大型の鏡を備えることいたします。

工事完成期日ですけれども、平成26年12月28日までを予定しております。

以上で工事概要を説明させていただきます。ご審議の上、ご承認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（金井佐則君） 提案理由の説明が終わりました。

ここで質疑を行います。質疑ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論を行います。討論ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

直ちに採決を行います。

議案第48号 工事請負契約について、原案のとおり可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（金井佐則君） 全員賛成です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

午前11時28分休憩

午前11時36分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開いたします。

◎日程の追加

○議長（金井佐則君） ここで、オスプレイ配備に関する新聞報道の村長発言について、7番南千晴さん、オスプレイの配備についての見解について、12番早坂通君から緊急質問の申し入れがありました。

7番南千晴さん、12番早坂通君の緊急質問の件を議題として採決します。

この採決は起立によって行います。

7番南千晴さん、12番早坂通君の緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として発言を許すことに賛成の諸君は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（金井佐則君） 全員賛成。

したがって、7番南さん、12番早坂君の緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として発言を許すこととされました。

暫時休憩します。

午前11時37分休憩

午前11時43分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開します。

◎追加日程第1 緊急質問について

○議長（金井佐則君） 質問順位1番、南千晴さんの発言を許可します。

7番南千晴さん。

[7番南千晴君発言]

○7番（南千晴君） 7番南千晴です。

緊急質問を行います。

6月の定例会のオスプレイに関する決議以来、新聞各社の報道で、榛東村のオスプレイの配備に関して、また、その関連のさまざまな報道が今されているところであります。一連の報道に関して驚い

た住民も少なくなく、特にオスプレイの配備について今後どのようなになるのか、住民も関心を寄せているところでもあります。

そのような中で、米軍の分散配備といった内容の報道もあり、村長の発言が新聞の記事によって異なっている点が見受けられました。このような事態がなぜ起こったのか。村長発言となると非常に重いものがあるということから、また、国の動向もあることから、緊急に議会においてしっかりした説明をしていただきたく、質問をさせていただきます。

まず、本年7月9日の産経新聞に村長の一問一答の記事が掲載されていました。また、インターネットの産経ニュースにも同様の内容が掲載されております。記事には、「阿久澤成實村長は産経新聞の取材に、米軍オスプレイ配備について納得できれば認めると述べ、政府との協議に前向きな考えを示した。」と書いてありました。この産経新聞の記事に間違いはないですか、村長。

○議長（金井佐則君） 阿久澤村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） お答えいたします。

先ほど、議会が始まったときに議長もお話しされたように、非常に報道というのは、捉え方によれば、何というか、言葉一つ一つが取り違えられるんだなというような思いがしております。私としては、米軍の配備についてその取材を受けたときに、私の聞き逃しか、または話の中での解釈の違いが見受けられるというようなことは、次ぐ日のあの新聞を見て私も感じました。

そして、その日にすぐ産経新聞の……支局長ですけれども、その方に電話を入れて、今回の報道された内容について私の見解とちょっとすれ違っているところがあるということで、来てお話をしてほしいんだという申し入れをさせていただきました。支局長は忙しいの何のという話で、来られないようなお話をされたので、じゃあ、私と一緒に話をした……記者をぜひとも向けてほしいというお話をしました。そしたら、……支局長は、村長がそう言うのであれば、遅くなるけれどもお伺いしますよということで、その日の6時ごろでしたか、村の村長室に見えられまして、約1時間お話をしました。

その中で、今、南議員が指摘されている米軍配備についてというところが、私としては聞き逃しもあったこともありますし、それから言葉の使い方がちょっと相手に理解をされなかったかなという点で、今、南議員が指摘するように、その点について新聞社にですね、私はこういうつもりで言ったんだから修正をしてくれないかというお願いをしました。ところが、ここにも新聞社2社おりますけれども、なかなか出た記事についてはもう認めてくれないのが事実でございます。

そんな中で、私も言った責任はある以上、後日この見解について修正をしながら、その重大さについてはおわびをしながら修正をしたいということで、17日ですか、上毛新聞、それから共同通信社の取材を受けまして、そのときに冒頭で、私からその2社に対して、始まる前に最初にお話しさせていただきますと。オスプレイ受け入れについて取材時、取材というのは産経新聞です。産経新聞のとき

に私の聞き逃し、あるいはまたお話の中で解釈の相違でご迷惑をおかけしたと、この部分については一部訂正を申し上げておわびを申し上げたいというので各新聞社にお話をさせていただいた中で、取材を受けさせていただいたという経緯でございます。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 経緯について今、村長のほうからお話いただきましたが、お互いの行き違い、聞き逃した部分があったということで。しかし、修正のほうはしていただけないという中で、でも、文字としてやはり新聞、また、インターネット上に今現在も残っているわけでありますよね。村長は、産経新聞の報道の中でも、議会のほうの決議文のとおりだというようなお話も言ってあって、上毛新聞でも同じ認識というようなことを書かれていました。

しかし、議会の議決は、沖縄の負担軽減に寄与するならばオスプレイの訓練等、こちらは基地対策委員会の見解では、日米共同訓練や災害派遣等、それらを今後とも受け入れるとともに、自衛隊のオスプレイ配備については理解を示すといった内容であり、米軍のオスプレイ配備や分散配備については何も明記されていない状況です。それにもかかわらず、やはり産経新聞の記事を読みますと、議決文の内容と違った、また、それ以上の村長の答えに、村民、また議会も驚きまして、決議文の内容にも誤解を与えかねない結果となったと思います。

その後、先ほど村長もおっしゃいましたように、上毛新聞のほうのインタビューに答えた記事が載っておりまして、普天間飛行場のオスプレイの分散配備を打診された場合の対応はということ、決めていないというような記事が載ってありました。

両方の記事を読みますと、やはり見解が違って、片方だけを見た方、両方見た方、両方とも見ていない方、いろんな方がいる状況だとは思いますが、やはり真意がわからない状況だと思います。

このような状況を招いたのは、やはり村長の発言があつてのことです。聞き逃しということではありますが、これらの説明を住民に対してどのようにこれから行っていくと考えているのか、お聞きいたします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 今指摘されたとおり、私の発言の内容が理解されなかったと同時に、私の聞き違いでそういう状況を生み出したということについては、これは深く反省をしております。そして、今言われますように、議会で議決された内容も、今も私はいささかも動くものではございません、考えとして。

その中では、やっぱり自衛隊オスプレイの配備については理解を示す、訓練は受け入れる。それから2つ目は、日米共同訓練については反対するものではない。それから、米軍のオスプレイ配備については、これは議会の議決にはうたわれていないということは私も再確認しております。そういう中

で、議会議決を重んじながらこれから進めていきたいというふうに思っております。

それから、住民説明ということでございます。必要があれば、要請があれば私は出向いて、やはりする責任があるというふうに感じております。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 住民に対して説明で、あえて村長コメントとか、そういった形でホームページに掲載したりだとか、その辺の対応に関しては何か決まっているんですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 今のところそういった計画はございませんけれども、指摘されたものについてはできる限り、私のホームページもありますので、そういった面からやっていけたらなど今は考えているところです。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） やはり、今回の報道によって、誤解したまま住民の方が理解してしまうということが一番懸念されることですし、議会もその都度それぞれの議員が説明責任を果たしているところだと思うんですけれども、それが全部の本当に末端まで、全てきちんとした説明ができるかといいますと、なかなか難しいところもあるのかなど。また、誤解のほうの認識が広がってしまうというのも、非常に懸念される場所だと思っています。

同じ産経新聞の7月9日の記事の中に村長のまた一問一答の中に、他の自治体に訴えたいこととはという問いに対しまして、演習場を抱える自治体それぞれに事情があるだろうから、自治体ごとに判断すればいいというようなお答えがあって、ちょっと近隣の自治体に対して余りにも少し冷たいような発言なのではないかなど私は受けたんですけれども、近隣自治体への配慮や周辺自治体の市長や町長等の話し合い等、そのあたりはどのようになっているのか。お答えできる範囲で構いませんので、説明をお願いします。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 議会議決された後、群馬県の防促協の会がございまして、高崎市、吉岡町、榛東村、そして県が入って防促協というのをつくっております。その団体は、各市町村から出た自衛隊に関する予算獲得についていろいろ議論をし、それを陳情を上げていくという組織でございます。それは議会議決されて、その後、幾日かちょっと定かでないんですけれども、その後、その会合がございましたので、その他の部門で、その議会議決された経緯、それから内容等を細かく説明をさせていただきました。そしたら、あのときは高崎が松本副市長だったと思いますけれども、松本副市長が

手を挙げまして、各自治体でいろいろなニュアンスがあるだろうから、それは静観しますよというお話をいただきました。それから、吉岡の町長は、別にございませんというお話でした。それから県としては、今まで榛東村がやってきたものについては推移を見守りながら、県としてもその都度対応していきたいというお話でございました。

以上です。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 現在の対応についてお聞きしたんですけれども、今後いろいろなことがまた、仮にもし防衛省なり国のほうから要請等が来た場合、村長、まずは村の判断ということもあるとは思いますが、今後そういった状況の中で、近隣の周辺自治体、首長の皆様と連携等を図っていくような考え、今後はどういうふうにしていくのか、そのあたりお聞かせください。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 必要があればそれはしなきゃならないと思うんですけれども、それをやる前に、各市町村に国からちゃんとお伺いがあると思うんです。その中で、国と各自治体が話し合う、確認をする、そういう作業がこの前の日米共同訓練の行われる前座としてやられました。私はそういう、何というか、国がやるべきことだというふうに思いますので、この村がどうだこうだということではほかの市町村に働きかけたりするということは、今のところ私は考えておりません。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 村長のお考えいろいろお聞かせいただいて、まず新聞報道、新聞の記事によって内容が、誤解というか、違う認識が書かれていたことに関して反省しているというようなお話をお聞きいたしまして、やはり村長という立場における発言は本当に大変重い政治的責任があると私は思います。今後このようなことがないようにやはり対応していただかないと、村民からの信頼を失うことになると思うんです。村長は、やはり村長の発言の重さについて考えていただきたいんですけれども、そのあたりどのように捉えていくのか、お聞かせください。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 常日ごろ、この職をあくまで、そういうつもりではききました。しかし、今回、このオスプレイの問題について、本当に自分の情けなさというのを痛感したところでございます。これに負けずに、また議員さんとともども進んでいきたいと、こんなふうに思います。

○議長（金井佐則君） 7番。

〔7番 南 千晴君発言〕

○7番（南 千晴君） 村長の考えを聞くことができましたので、今後もこのようなことがないように、しっかりとした村長としての立場で責任を果たしていただければと思います。

以上で私の質問を終わりにします。

○議長（金井佐則君） 以上で7番南千晴さんの緊急質問が終了いたしました。

質問順位2番、早坂通君の発言を許可します。

12番早坂通君。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 12番早坂です。

やはり、緊急質問を行います。

まず最初に、村長にちょっとお聞きしたいんですけども、基地対策特別委員と、あと議長と一緒に防衛省に行きましたよね。これについては、防衛省から招待があったのか、どうなんでしょうか。

○議長（金井佐則君） 暫時休憩します。

午前11時59分休憩

午前11時59分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開します。

村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） その件については、私には要請はございませんでした。議会に要請があったかどうかというのは、これは私の知るよしではございません。議会さんがそういう形で行くんですけども、村長も行ってくれるかいというようなお話の中で、私も、じゃあ一緒にさせてもらうかという事で参加したということでございます。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 今、私が聞いたの、聞き方悪かったんですけども、議長や基地対策委員会が行くことについては私は妥当だと思うんですけども、村長が行ったことについて、住民からも、議会決議なのに何で村長まで行くんですかという声もあるんですよ。そういったことで、今聞いたわけですね。いずれにしても、村長が希望して行ったということでいいわけですね。じゃ、それはそれとして。

村長は、先ほどの南議員の質問に対しまして、産経の記事については、聞き逃しまたは解釈の違いもあったんだというふうに思うと。さらに、時にして新聞報道は、何といたらいいんですか、歪曲、また、事を大きくして報道するような意味のことを言ったと思うんですけどもね。時にはそういうこともあるでしょうけれども、ただ、聞き逃しか解釈の違いだと村長言いましたけれども、私は聞き

逃しなんていうことはあり得ることはないと思うんですよ。

産経のこの群馬版の記事を読みますと、村長はこう答えているんですよ。決議文のとおりだと。「自衛隊へのオスプレイ配備、訓練の受け入れも、政府から要請があれば村としては受け入れる。米軍のオスプレイを配備する可能性は低いと考えるが、仮にそうなれば、安全・安心の確保という点でしっかり説明をしてもらい、納得できれば認める」というふうに言っているんです。ですから、聞き逃しなんていうことはあり得ないわけですよ。どうですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 言いわけには聞こえるかもしれませんが、この問題について、記者会見の中で相対で話している中では、今思うには、自衛隊のオスプレイ問題と、それから米軍オスプレイ問題がごっちゃになっていたのかなというふうに今思っているところでございます。

それで、これを新聞社ともお話をしたんです、支局長と。ここは違うんだよというお話をしたんですが、支局長によれば、納得できれば認めると書いてあるんだからいいだろうと、こういうお話だったんですよ。だから、納得できなければ、それは米軍もそうだし、受け入れないんだという解釈をしてくださいよというお話だったんです。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） じゃあ、村長がここはこういうふうに正確に書いてくれと言った部分というのは、例えば……

〔発言する声あり〕

○12番（早坂 通君） 今、申し入れたけれども、受け付けてくれなかったという話でしたよね。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 当日の新聞、あれに載るときには、ここを書いてくださいとか、そういうことはやりませんでした。だから、……記者と対談しているときには、ここを書いてくださいとか、ここをよしてくださいというお話でなくて……

〔発言する声あり〕

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 私が言っているのは、今、村長は、この新聞を受けて、支局長を呼んで、こういう部分は私が言ったところと違うから書き直してくれというふうに申し入れたらば、「納得できれば認める」と書いてあるんだからそれでいいでしょうと言われたというふうに言いましたよね。だから、そのときに村長は、どのような場所が私が言ったことと違うというふうに言ったのかという

ことを聞いているんです。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 米軍オスプレイの配備についてはノーですよということをここで言っているとっているわけです。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 村長、それはね、余りにも誰が聞いても信じないですよ。だって、これ一応産経だって大手の新聞ですよ。大手の新聞が、ノーと言ったことをイエスというふうには私は絶対書かないと思いますよ。それは、やっぱりうそでしょう。ちょっと言葉がきついですけれども。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） もしあれだったらですね。私は録音はとりませんでした。それから、……さんも録音はとりませんでしたけれども、……さんに確認をしていただければというふうに思います。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） もしね、議長ね、本当に今言ったように、村長が米軍配備についてノーと言ったのに、このような記事を産経が書いたというんなら、私は本当に訴えればいいと思いますよ。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 今、ノーと意思表示をしたと言ったということではなしに、この記事が「納得できれば認める」ということについては、米軍オスプレイについては私自身はノーだというのは、新聞社にはそういう気持ちは伝えました。だけれども、ここで書かれている「納得できれば認める」という中で、米軍のオスプレイについての配備について、私は自分自身言ったつもりはないところなんです。ただ、相手の解釈、それから自分の聞き逃しで、それはどういうふうにとられたか知らないけれども、記者はこういうふう感じたんじゃないかなというふうに思います。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） それこそね、今の村長の答弁だと、本当に私、まじめな話、村長の言うことが正しければ、産経を訴えるべきですよ。そのような産経がいいかげんな記事を書いたことによって、村は混乱しているわけですから、村長の名誉だって傷つけられたわけですから、私は訴えるべきだと思います。でも、私は、村長がいまだに訴えていないということについては、やっぱり大筋この産経の記事が私は正しいんだと思うんです。一言一句正しいとは言いませんよ。でも、大筋正しいと

いうふうになっているんですよ。

今、村長はしなければならないことは、潔くですね、私の不徳のいたすところで——この表現はどのようなふうにしたら、聞き逃しというのはまずいだろうから、私の不徳のいたすところで勘違いをして、村民皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことをおわび申し上げます。なお、米軍オスプレイ配備については白紙といたしますというぐらいの表明をすべきだというふうには私は思うんですよ。いかがですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 本当に申しわけなく思っております。そういうことで、これから対応をさせていただきます。

○議長（金井佐則君） 暫時休憩します。

午後0時9分休憩

午後0時9分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開します。

村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） ちょっと訂正させていただきます。

先ほどの米軍オスプレイの配備については、私ノーと言いましたけれども、そうじゃなくて、白紙です。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） やっぱり、そう言えば言うほど疑いが濃くなっちゃうんですよ。だって、産経に対して、そのときにノーじゃなくて、白紙と言ったということになれば、白紙についてだって、産経はもし村長が白紙と言ったらば、「納得できれば認める」なんていうふうには私は書くはずないと思うんです。また、村長が本当に白紙と言ったにもかかわらずこういうふうには、「仮にそうならば安全・安心の確保という点でしっかり説明をしてもらい、納得できれば認める」というふうには書いてあるわけですから、これだって、もし村長の白紙ということが事実ならば、この問題だって産経を訴えられますよ。だって、全然意味が違うじゃないですか。

○議長（金井佐則君） 暫時休憩します。

午後0時11分休憩

午後0時11分再開

○議長（金井佐則君） 会議を再開します。

村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 私も頭の中が混乱しているので、いろいろとあれしているんですけども、さっきの白紙というのは、この記事の中での白紙ということではなしに、議決された中での米軍についての記事がないと、記述がないということですので、それについての質問は白紙だということでございます。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 聞けば聞くほどわからなくなるんですよ、村長、本当にまじめな話。

じゃあ、ちょっとこの問題を言っても切りがないので、ちょっと方向を変えて質問をします。

村長は、産経の7月9日の記事の中で、このような質問にこういうふうにご答えているんですね。住民の理解を得られる手応えはあるのかということに対して、はっきりと「ある」というふうにご答えているんですけども、その「ある」という根拠については、この間の東日本大震災のときの災害のときに自衛隊が活躍したということをとって、そういうことを住民は見ているから理解してもらえる自信があるというふうにご答えているわけなんですけれども、本当に村長は米軍のオスプレイの配備も含めて、住民が理解してくれる自信はあると思っているんですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） この後段につきましては、私はずうっと流れの中で、米軍のオスプレイ配備については聞き違いであったかわからないんですけども、頭にはそういうものはなかったんです。その中でこの答えを出させていただいたということでございます。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） だんだん時間が迫ってきましたので、あともう一つ、一連の記事を私全部読みました。何でかなと不自然に思うことが幾つもあったわけなんですけれども、まず1つ、これは6月20日の朝日なんですけれども、議会と同じ認識と言っていますけれども、7月17日の上毛では、決定した時点でどんどん情報提供してもらわないと困る。議会や村民に説明する時間が欲しいというふうにご言っているんですね。この6月20日の朝日というのは、つまりオスプレイの議会決議がされた翌日ですよ。翌日に、議会と同じ認識だとすぐ言っているんですよ。でも、7月17日の上毛の記事では、議会や村民に説明する時間が欲しいからというふうにご、どんどん情報を提供してもらいたいというふうにご言っているんですよ。ならば、この6月20日のときにだって、議会決議は議会決議でされたとしたって、村長としたらば、要するに住民に説明をしてから判断をしたいというぐらいのことは言

うべきだったんじゃないんですか。いかがですか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 言いわけをするわけではございませんけれども、そういうふうに言われれば、口足らずだというふうに反省しています。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） 時間が迫ってきましたので、あと2点聞きます。

村長は、何度も説明を受けて、オスプレイの安全・安心が確認できたというふうに言っておりますけれども、先ほども言いましたけれども、村長自身でオスプレイの安全・安心を客観的に確認をしましたか。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 墜落事故についてゼロに近くなってきたのかなという認識は、沖縄に平成24年10月配備後、当該機体の墜落事故等の情報を受けていないことからのものであります。また、オスプレイの安全性については、防衛省のホームページで示されている内容に基づくものであり、日米共同訓練実施にかかわる事前説明、打ち合わせ、平成25年12月12日においても、直接防衛省関係者より説明を受けております。

また、饗場野で行われた日米共同訓練について議員研修が行われるなど、議会としても研修を積んだ結果、議会議決となったものというふうに思っております。その点では議会と認識は同じだということでございます。

○議長（金井佐則君） 12番。

〔12番 早坂 通君発言〕

○12番（早坂 通君） これは最後の質問になると思うんですけどね。村長、私もいろいろ調べました。オスプレイの安全性について客観的にどうなのかと、ネットなんかを通じて。確かに、ネットの中では、オスプレイの事故率については1.93と、低い数字が出ています。そのかわり、海兵隊が使っているCV-22のほうについては13.47ということですね。だから、こちらに来るMV-22については、1.93という数字が出ています。ただ、これは自衛隊関係の資料ですからね。ほかの資料は、ちょっとまだ私も調べられていないので、最終的な判断はできないんですけども、そういうふうに当局の説明を聞くだけじゃなくて、やっぱり村長たるもの、第三者的な立場で確認をすべきだと思うんですね。

それと、それが1つと、最後にもう一度言います。

村長は、今の答弁を受ければ、やっぱり潔くですね。さっき私が言いましたように、私の不徳のい

たすところですよ云々ということ公に表明をすることが、今の村の混乱を収束させる大きな力になるというふうに思っているわけですが、村長、その決意は。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） 安全性の確認については、私が一人で調べてもなかなか進みませんので、職員にも指示をして調べさせていただいて、その資料提供を受けているところです。そして、個人的に防衛省につながりがあるかといえば、そんなこともないので、そういった情報はやっぱりネットとか、防衛省の方にお聞きするのが、これは今の段階ではベターではないかなというふうに思っております。

それから、公に今回の件について、村長自身が言いわけじゃないけれども、こういう状況だよというお話をしろというお話でございます。それについては、先ほど南議員が話されましたように、自分のネットもございまして、その中でやらせていただき、そしてまた、村民からもそういった声があればまた考えてみたいと、こんなふうに思います。

〔「いや、だから、私のちょっと聞きたい」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 時間です。だめ。

〔「質問に答えていないんです、私の2番目の質問に」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 村長、どうなんですか。

2番目の質問に答えてないんだらう。2番目の質問に答えてもらえればいいんでしょう。

〔「そうそう」の声あり〕

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） もう一回質問してください。

○12番（早坂 通君） 私が2番目に言ったのは、この際潔く、私の不徳のいたすところで——何と表現したらいいかわからないけれども、私の不徳のいたすところで勘違いをして、村民皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことをおわび申し上げます。なお、米軍オスプレイ配備は白紙いたしますということ公に表明することが、今の村の混乱状態を収束する大きな力になるというふうに思うが、村長は公に表明する考えはあるかということ聞いたわけです。

○議長（金井佐則君） 村長。

〔村長 阿久澤成實君発言〕

○村長（阿久澤成實君） いろいろの手段があろうかと思えます。村民が納得できるようなことで、これからそういうものについて出せる機会がありましたら出していきたいと、こんなふうに思っています。

◎閉 会

○議長（金井佐則君） 以上で本日付議された案件は全て終了いたしました。

これで本日の会議を閉じたいと思いますが、まだまだ暑い日が続きます。議員諸君には体調には十分管理をされまして、村のため、村民のために活躍されることをお願いを申し上げ、本日の第2回榛東村議会臨時会を閉会といたします。

大変ご苦労さまでした。

午後0時21分閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

榛東村議会議長 金 井 佐 則

榛東村議会議員 小 野 関 武 利

榛東村議会議員 松 岡 稔